

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第12号

令和4年9月13日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

先週6日(火)には、台風11号接近の影響で、学校が臨時休業になるなど、ご心配とご迷惑をおかけしましたが、被害は無かったですでしょうか。学校の校舎も特に大きな被害はありませんでした。

PTA環境整備作業 ありがとうございます！

9月11日(日)にはPTA校内環境部の企画で環境整備作業を行っていただきました。まだまだ残暑厳しい中に早朝からご協力ありがとうございました。おかげで運動場(除草)も校舎内(窓拭き)も渡り廊下や体育館もさっぱりきれいになりました。きれいな環境の中で18日の小中合同運動会が実施できそうです。保護者の皆様のご協力に感謝です。



バレーボールクラブ がんばりました！

8月27日(土)28日(日)は、シーハット大村で小学生バレーボール長崎県大会が行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれましたが、何とか実施され、萱瀬クラブの子供たちも大村市代表(男女混合チーム)で出場し、コートの中を一生懸命動き回り、ボールをひろってつなげて打ってがんばりました。おつかれさまでした。



校長室の窓から

～あいさつの力～

あいさつには、人と人の心を通わせる不思議な力があります。学校でも子供たちに「学校の中でも学校の外でも気持ちのいいあいさつをしよう」と呼びかけています。

いろいろなあいさつがありますが、遠い昔から、みんな一緒に集団で生きる。みんな共に生きて、生かされている。そんな社会の意識を受け継いでいるあいさつがあると思います。それは、きっとだれもが使っている、

「いってきます」「いってらっしゃい」「おかえり」「ただいま」等の何気ない日常のあいさつ。

☆「いってきます」は、行きますが、必ず戻りますと送り出す人に伝える。

～約束の言葉～

☆「いってらっしゃい」は、はやく帰ってきて。

～祈りの言葉～

☆「おかえり」は、はやく帰ってきてという祈りがかなった。

～安堵の言葉～

☆「ただいま」は、帰りを長く待っていてくれた相手に対して、たった今帰りましたよ。

～思いやりの言葉～

この他にも「おはよう」「おやすみ」「こんにちは」「ありがとう」等々、いろいろなあいさつがありますが、相手と一緒にいることを何よりも大切にし、対話できることを喜びとした言葉。人を支えた言葉。人に声援をおくり、温もりを与えることがある言葉。あいさつには、された人も、した本人も、どちらも気持ちがよくなる力、笑顔になる力がありますね。

いつも変わらず温もりがある、あいさつが交わせる家族、仲間、学校、地域でありたいと願います。



「夏休みの作品展」特集

さて、8月31日から9月2日まで、校内で夏休みの作品展を開催しました。コロナ感染拡大防止のために保護者の参観はご遠慮いただきましたが、児童同士でお互いの力作を見合うようにしました。場所を図工室で行いました。子供たちの個性あふれるがんばりが伝わってくる作品展となりました。

学年に応じた内容、成長に伴う製作活動の広がりを感じたところです。子供たちが、このように充実した夏休みが過ごせたのも、ご家族のみなさんのおかげです。

【工作の部】

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



【絵画の部】



【習字の部】

